**未払給料等**（注）□欄は，該当事項にレ点を付すか，又は，■に反転させる。

　　　　　　　　　　　　請　　求　　の　　趣　　旨

１　被告は，原告に対し，次の金員を支払え。

　　金　　　　　　　　　　　　　　円

　□上記金額に対する　□令和　　年　　月　　日　から

　　　　　　　　　　　□訴状送達の日の翌日　 　 から

　　支払済みまで年 　　パーセントの割合による金員

２　訴訟費用は，被告の負担とする。

３　この判決は仮に執行することができる。

１　原告と被告（　　　　　　　業を営む者である。）は，次のとおり雇用契約を締結した。

　(1) 契約日　　 令和　　年　　月　　日

　(2) 業務内容

　(3) 賃金 □月額・□日給・□時給 　金　　　　　　　　　円

　(4) 支払期日 □毎月　　日締めの　□当月・□翌月　　日支給

２　働いていた期間　令和　　年　　月　　日から

　　　　　　　　　　□令和　　年　　月　　日まで（同日退職）

　　　　　　　　　　□現在も就労中

３　未払賃金の計算

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|       |  　　　　　賃　金　額 |  　支払済みの額 |  　残　　　額 |          |
|  合計　　　　　　　　　　　円（内訳）　基本給　　　　　　　　　 円　各種手当　　　　　　　　 円　超過勤務手当 　　　　　円（明細は別紙のとおり　令和　　年　　月　　日から　令和　　年　　月　　日分まで） |  円 （最後に支払われた日　令和　　年　　月　　日） |  円 |

４　遅延損害金請求の起算日

　　□未払賃金を請求した日　令和　 年 　月 　日（退職後に支払を求める場合）

　　□最終支払期日（令和　 年　 月　 日）の経過

　　□

５　その他の参考事項

　　 　 **添　　　付　　　書　　　類**

□法人登記事項証明書（資格証明書）　□給与明細書　□雇用契約書

□タイムカード　□出勤簿　□就業規則　□

**別　紙**

１　各種手当の内訳

　　内訳

　　　　　　　　　手当　　　月額　　　　　　円×　　か月＝金　　　　　　円

　　　　　　　　　手当　　　月額　　　　　　円×　　か月＝金　　　　　　円

　　　　　　　　　手当　　　月額　　　　　　円×　　か月＝金　　　　　　円

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　各種手当合計金　　　　　　　　円

２　超過勤務手当の計算

　(1) 時間当たりの単価の計算

　　①　月給制の場合

　　　　基本給　　　　　　　円×１２か月÷５２週÷４０時間＝金　　　　　円

　　②　日給制の場合

　　　　日給額　　　　　　　円÷　勤務時間　　　　　　時間＝金　　　　　円

　(2) 超過勤務手当の計算

　　　　令和　　年　　月分　　　　時間×単価　　　　円＝合計　　　　　　円

　　　　　　　　　　　　　　※単価　□営業日時間外（(1)の時間単価×１．２５）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　□営業日深夜（(1)の時間単価×１．５０）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　□

　　　　令和　　年　　月分　　　　時間×単価　　　　円＝合計　　　　　　円

　　　　　　　　　　　　　　※単価　□営業日時間外（(1)の時間単価×１．２５）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　□営業日深夜（(1)の時間単価×１．５０）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　□

　　　　令和　　年　　月分　　　　時間×単価　　　　円＝合計　　　　　　円

　　　　　　　　　　　　　　※単価　□営業日時間外（(1)の時間単価×１．２５）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　□営業日深夜（(1)の時間単価×１．５０）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　□

　　　　令和　　年　　月分　　　　時間×単価　　　　円＝合計　　　　　　円

　　　　　　　　　　　　　　※単価　□営業日時間外（(1)の時間単価×１．２５）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　□営業日深夜（(1)の時間単価×１．５０）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　□

　　　　令和　　年　　月分　　　　時間×単価　　　　円＝合計　　　　　　円

　　　　　　　　　　　　　　※単価　□営業日時間外（(1)の時間単価×１．２５）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　□営業日深夜（(1)の時間単価×１．５０）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　□

　　　　　　　合計　　　　　　　時間　　　　　　合計金額　　　　　　　　円